

令和六年度 東京純心大学 看護学部 看護学科

一般選抜試験（第一回）【国語】 試験問題

試験時間 60分 問題は1～7ページ

注意事項

- ・ 解答は、すべて解答用紙に記入すること。
- ・ 問題用紙は、試験終了後回収する。

受験番号

令和6年1月28日

□ 次の文章を読み、以下の設問に答えなさい。

※問題文については、朝日新聞社に無断で転載することを禁じます。

気候変動の影響もあり近年の猛暑はより厳しくなっている。熱中症予防のために保育園で屋外遊びを(ア)控える動きが広がっていることを取材し報じた。

きっかけは私が昨夏に出産したことだ。(イ)炎天下、新生児を抱っこしての外出は、母子ともに汗だくで、干上がりそうだった。

「最近、夏が暑いので、屋上には出られないこともある。その場合は室内遊びに切り替える」。(A)保活中、屋上を園庭代わりにする保育園ではこんな説明を受けることもあった。

自分が子どものころの夏って、こんなだったっけ？

毎日外遊びやプールに明け暮れていたような……。そんな疑問がわいた。

今春、仕事に①フツキし、さっそく掘り下げてみることにした。保育園関係者に②タズねると「そうなんです……」と語り始める人が多く、子どもの成長に大切な虫捕りなどの屋外遊びが、真夏の日中は行いづらくなっていると教えてくれた。

公立保育園などを設置・運営する自治体にアンケートをとると、約3割が独自の基準を(ウ)設け、一定以上の暑さで、屋外活動を中止していることもわかった。

温暖化によって、今世紀末には、秋田市が大阪市のようになるといふ③ヨソクもある。西日本では、8月、正午から午後3時は、暑さで外遊びを控えなければなくなる可能性もあるという。

2021年の国連気候変動に関する政府間パネルの報告書は、人間活動による地球温暖化は「疑う余地がない」と初めて断言した。「影響を一番受けるのは、これまでの温室効果ガス排出に何の罪もない将来世代。運命を④ニギるのが、いまの大人たちだ」。

(I) 東京大教授の江守正多さん(気候科学)の言葉が重く響く。

メディアでは、盛んに気候変動の問題がとりあげられるようになった。一方で、私自身は仕事と子育てに追われ、(B)「エコ」や「サ

ステイナブル」とはかけ離れた日常に悩む。どうしたら解決に向かえるのか。脱炭素に向けた法律や制度の動きと生活者を結ぶ報道は足りないと感じる。

生まれてから1年あまり経った我が子は最近ようやく数歩、歩き始めた。外で遊べる日を夢見てか、先日買った赤いファーストシューズを履かせてくれとせがんで室内で練習に⑤ハゲむ。

(Ⅱ) 子どもたちが元気に駆け回る「宝物の夏」を、秋を待ち望むだけの「耐え忍ぶ夏」にしないために、何ができるのか。この取材を出发点に考えていきたい。

(水戸部六美 「外で遊べない夏」(『朝日新聞』二〇二二年八月九日(夕刊)、〈取材考記〉欄)による) 承認番号(24-0335)

設問一 傍線部①～⑤のカタカナを漢字に直し、(ア)～(ウ)の漢字の読みをひらがなで書きなさい。(送りがなを記す必要はない。)

- ① フツキ                      ② タズ(ねる)                      ③ ヨソク                      ④ ニギ(る)                      ⑤ ハゲ(む)
- (ア) 控(える)                      (イ) 炎天下                      (ウ) 設(け)

設問二 傍線部(A)(B)を説明した以下の文章について、意味が通るように、空欄a～dに適切な漢字を字数指定に従って補いなさい。

(A) 保活

「学生が卒業前に、民間企業に就職先を内定させるための活動」を「就職活動」と呼んでいたが、近年「就活」と略すようになった言い方に変わったもの。幼い子の a (一字) が、仕事のために我が子の預け先の b (三字) を確保するための活動。

(B)「エコ」や「サステイナブル」

「エコ」は「エコロジー」の略。原義は「生態学」だが、最近では「に配慮した、に負荷をかけない」意で使われる。「サステイナブル」は本来、「維持できる」といった意味。近年では「持続な」社会を目指す、といった文脈で使われる。

設問三 傍線部 (I) について、以下の問いに答えなさい。

(一) 傍線部の直前に示されている江守正多さんの言葉は、筆者の状況にどのように当てはめられるか。字数指定に従い、本文中の適切な語を抜き出して e・f に答えなさい。

将来世代

、いまの大人たち

(二) 「重く響く」とは、この場合、どのように言い換えられるか。次の中から三語を選び、助詞や動詞の語尾を適宜補って適切に答えなさい。

課題 過重 反響 認識 重要 主題

設問四 傍線部 (II) について、(1)「宝物の夏」にはできる遊びを一〇字で、(2)「耐え忍ぶ夏」に保育園でせざるを得ない処置を

一六字で、それぞれ本文中から抜き出して答えなさい。(句読点も一字と数える。)

□ 次の文章を読み、以下の設問に答えなさい。

「うちの旦那、毎日帰りが遅くてね」「ご主人、どんな仕事してるの？」  
よくある会話である。

だが、出てくる言葉に引かかる人はいるだろう。

まずは、「旦那」。元は古代インドのサンスクリット語で「施し・布施」を意味するという。転じて、奉公人が男の主人を(ア)敬つて使う言葉になった。

本来は目下の者が目上に使う言葉ではあるが、「うちの旦那」なら、漢字の字面や「だんな」という音から、上下関係はあまり感じられない。

でも、「ご主人」はどうだろう。主人は「一家のあるじ」を指す言葉だ。漢字の組み合わせからも、その意味が①シユンジに読み取れる。

今、夫婦の7割近くは共働きだ。専業主婦も、年中②ムキユウの家事労働で家庭を支えている。そもそも夫婦に主従関係は存在しないのだから、昨年からは「夫さん」と呼んでいる。この言葉を使って女性から何か言われることもなく、今ではすっかり慣れた。

\* \* \*

では、「奥様」「女房」「嫁」はどうか。「家内」は避けた方が良さそうだが、ほぼ記号化した単語に(ア)目くじらを立てたくはないし、ましてや言葉狩りをするつもりなど③モウトウない。

それでも、(イ)言葉にはできるだけ敏感でありたい。最近そう思われたのが、「糖尿病」の名称変更の動きだ。

医師や患者らで作る日本糖尿病協会は、日本糖尿病学会とともに新たな病名の検討を始めた。まず、患者の尿に糖が混じるとは限らず、実態を表していない。同協会が実施したインターネット調査では、患者の8割が、「尿」という表記に(イ)羞恥心を抱くなどの理由で、病名の変更を求めた。

糖尿病の友人に尋ねると、「僕も病名を言いたくないから、人に話すときは『血糖値が高くて』って言うんだよ」と④クシヨウした。長年、医療を取材しながら、私はそんな患者さんの思いを想像したことがなかった。恥じ入るばかりだ。

\* \* \*

言葉の持つ意味が今の時代の常識にそぐわない▽事実を正確に言い表していない▽その言葉が使われて不快に思う人が少なからずいる——こうした場合は、やはり言い換えを検討すべきだろう。

特に、⑤ヘンケンや差別意識を植え付けられる傾向が強い精神科の病名の中には、変更されたケースが多い。

過去、精神分裂病は「統合失調症」に、痴呆は「認知症」に改められた。

その後も、不安障害やパニック障害は、「障害」という言葉が本人や家族に衝撃を与えるととして、それぞれ「不安症」「パニック症」に変わった。

もちろん、言い換えればすべて解決、ではない。認知症の人を「あの人、ニンチだから」などと見下したように言う人もいる。結局は、言葉を使う人の意識や社会のありようが変わらなければ、名称変更の(B)いたちごっこになりかねない。

\* \* \*

性的少数者(LGBTQ)への理解の広がりも、なじみのある言葉を変え始めている。

「レディース・アンド・ジェントルメン(紳士、淑女のみなさん)」

この英語の呼びかけを、東京ディズニーリゾートは「ハロー、エブリワン(みなさん、こんにちは)」に、日本航空は「オール・パッセージヤーズ(旅客の皆様)」に改めた。

私が使っているスマホの絵文字でも、同性のカップルや家族、男性か女性か分からない人の絵が増えた。

人種や性別、世代、障害などにかかわらず、すべての人が尊重される「インクルーシブ(ウ)包括的」社会」。時代はその実現を目指して動いている。変化の速度は速く、(II)言葉への敏感さと配慮がこれまで以上に求められるのは間違いない。

(山口博弥「言葉の言い換え 求められる配慮」『読売新聞』二〇二二年二月一日、〈広角多角〉欄)による)

設問一 傍線部①～⑤のカタカナを漢字に直し、(ア)～(ウ)の漢字の読みをひらがなで書きなさい。(送りがなを記す必要はない。)

- ① シュンジ                      ② ムキユウ                      ③ モウトウ                      ④ クシヨウ                      ⑤ ヘンケン
- (ア) 敬(って)                      (イ) 羞恥心                      (ウ) 包括

設問二 傍線部(A)(B)の言葉の意味を簡潔に記しなさい。

- (A) 目くじらを立て(る)                      (B) いたちごっこ

設問三 傍線部(I)について、以下の問いに答えなさい。

- (一) 筆者がこれまでも心がけてきた例を、本文中から二〇字以内で抜き出しなさい。なお、句読点等も一字と数える。
- (二) それにもかかわらず筆者が敏感ではなかった例を、本文中から二五字以内で抜き出しなさい。なお、句読点等も一字と数える。

設問四 傍線部(II)について、本文の内容全体を、簡単に以下のようにノートにまとめてみた。本文中から指示に従った適切な言葉を抜き出して、空欄a～cを埋めなさい。

○「言葉への敏感さと配慮」が求められる

←

←

○ a (七字) すべき場合

・言葉の持つ意味が今の時代の常識にそぐわない

例 日常会話で……「夫」「妻」の呼び方

企業の場合……遊園地利用者や、 b (二字) への呼びかけ方

・事実を正確に言い表していない

例 「糖尿病」の名称変更の動き

・その言葉が使われて不快になる人が少なからずいる

例 「不安障害」が「不安症」に変わった

(その他、いくつかの病名変更も。)

←

←

ただし、それで解決ではない。

☆ c (二〇字以内) が変わることが重要。